

赤坂プレスセンター

【所在地・面積】 港区六本木7丁目 26,938㎡(国有地)
【用 途】 事務所(星条旗新聞社、宿舎、ヘリポート)
【管 理 部 隊】 在日米陸軍基地管理本部

【沿革】

明治22(1889)年1月
旧陸軍第一師団歩兵第三連隊駐屯地設置

昭和20(1945)年9月22日
米軍が接収

昭和58(1983)年5月19日

日米合同委員会において都市計画街路環状三号線の道路用地(約3,900㎡)について都との共同使用及び代替措置として工事期間中の臨時ヘリポート用地(約4,300㎡)を追加提供することを合意

昭和58(1983)年8月12日

都、東京防衛施設局、在日米軍の三者間で工事期間中の臨時ヘリポートの整備と、工事終了後、元のヘリポートを原状回復することとした「在日米軍施設及び区域の共同使用に関する協定」を締結

平成5(1993)年3月29日

環状三号線工事の完了、供用開始

平成5(1993)年6月3日

日米合同委員会において陸上自衛隊によるヘリポートの共同使用について合意

平成13(2001)年9月1日

都が総合防災訓練の会場として初めて使用

平成19(2007)年4月23日

日米合同委員会において臨時ヘリポート用地の代替地として一部土地(約4,700㎡)の返還合意

都と在日米陸軍は緊急時におけるヘリポートの共同使用に係る協定を締結

平成20(2008)年4月

都が緊急患者を最しも地域から都心の区森總医への搬送の中継拠点として使用を開始

平成20(2008)年11月10日

都と在日米陸軍は、災害時におけるヘリポートの立入りに係る協定を締結

平成23(2011)年7月29日

日米合同委員会合意に基づき代替地として一部土地(約4,700㎡)が返還

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちは真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生

まれ育つことももたらに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持すること

を求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、

心から平和の願いを込めて港区が平和都市であること

を宣言します。



平和の灯(区立芝公園)

発行番号：2025201-6421

港区の米軍基地

平成30(2018)年3月 初版発行
令和8(2026)年1月 改訂

発行 港区総務部人権・男女平等参画担当
港区芝公園一丁目5番25号
電話 03-3578-2111(代表)

赤坂プレスセンターと ニューサンノ-米軍センターの位置



港区には、2か所の米軍基地(赤坂プレスセンター及びニューサンノ-米軍センター)があり、赤坂プレスセンターにはヘリポートが設置されています。

このリーフレットは、区民の皆さんに基地の概要とヘリポート基地があることによる区の取組を知っていただくために作成しました。

赤坂プレスセンター (Akasaka Press Center)



(麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会提供)

旧日本陸軍駐屯地。
現在は、米軍ヘリポート、星条旗新聞社、独身将校宿舎、ガレージとして使用されています。
都立青山公園に隣接しています。

ニューサンノ-米軍センター (New Sanno U.S.Forces Center)



(東京都HPから転載)

山王ホテル士官宿舎の代替施設として、昭和58(1983)年に米軍に提供され、会議及び宿泊施設として使用されています。日米地位協定等について、日米間で協議を行う日米合同委員会は、この施設で開催されています。

